

ベンチャー体験工房 2



宇宙リモートセンシングデータの利活用



会津大学発“宇宙”ソフトを世に出そう！

これを読んでいるみなさん！私達と一緒に宇宙のデータを使って、ソフトウェア開発や、データキュレーションを体験しよう！

担当教員：出村，奥平，大竹，平田，小川，本田，北里

概要

深宇宙探査や宇宙開発の PBL



履修生はデータキュレーションとソフトウェア開発の2タイプ、さらにミッション別の班に分かれ、実践的な課題解決型学習（PBL: Project-Based Learning）を進めます。各学期末に公開の中間および成果発表会を行います。必要機材は貸与します。

各国宇宙機関から提供されているオープンデータやサービスを出発点として、新たな価値の付与と配信、アイデアを形にする段階から実際のソフトウェア開発までを体験し、会津大学発ソフトウェアのブランディングを目指します。Facebook グループ『会津大学発の宇宙ソフトを世に出そう！』 <https://www.facebook.com/SpaceSoftUoA>

深宇宙探査データ、地球観測衛星データ、など全ての公開データが対象です。「はやぶさ/はやぶさ2(小惑星)」「国際宇宙ステーションたんぽぽ」、および将来の火星衛星探査や月着陸ミッション、ローバーを題材とした活動を行なっています。

実例

はやぶさ2 に提供された AiGIS (不規則形状小天体用 3D-GIS)

